

緊急研究会「福島原発事故による学校・機関への影響と対応を考える」

東日本大震災に被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

この震災によって引き起こされた福島原発事故はまだ復旧の目処が立たず、放射能汚染は長期にわたることがほぼ確定的になりました。このような長期間微量ながらも被曝する影響について、特に影響を受けやすい若い世代が集中する学校や大学においては、まず学校・大学運営に当たる教職員が放射能に関する正しい知識をもった上で、学生・生徒に接し、一時帰国や入学延期を申し出る外国人教員や留学生への対応、就活の長期化への対応、被災生徒・学生への学費軽減措置などいわゆる「事業継続」(BCP)の観点から適時・的確な対応をすることが求められます。

◆日 時 平成 23 年 4 月 26 日 (火) 10:00～17:00

◆会 場 学生情報センター ナジックプラザ東京 セミナーホール
(東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 15F 地下鉄表参道駅徒歩 5 分)
* 地図 <http://www.gakusei-sc.or.jp/map/>

◆プログラム

—第 1 部 福島原発事故を正しく理解する—

10:00～11:30 「放射線量の読み方と的確な対処法 —学生・生徒への指導を考える—」

柴田 徳思 先生 (日本原子力研究開発機構 J-PARC センター 特別研究員)

12:30～14:00 「福島原発事故の現状と今後の展開」

牧 英夫 先生 (元 ㈱日立製作所 技師長)

—第 2 部 福島原発事故による影響とその対応—

14:00～14:40 「外国人留学生・教員への対応」

水畑 順作 先生 (文部科学省 高等教育局 学生・留学生課 留学生交流専門官)

15:00～15:40 「災害時の労務対応」

後藤 俊彦 先生 (㈱シー・イー・アイ 特定社会保険労務士)

15:40～16:20 「計画停電の影響 —節電・授業時間の確保、ボランティアの扱い等—」

義本 博司 先生 (文部科学省 高等教育局 高等教育企画課長)

16:20～17:00 総括と意見交換 (就活、メンタルヘルス、事業継続)

コーディネータ：総括 小山富士雄 先生 (東京工業大学 総合安全管理センター 特任教授)

上杉 道世 先生 (慶應義塾大学 信濃町キャンパス 事務長)

森本 晴生 先生 (新渡戸文化学園 学園長)

◆会 費 学校経理研究会・国立大学マネジメント研究会・大学行政管理学会会員 5,000 円、一般 8,000 円
(当日現金にて申し受けます)

※レジュメ作成等諸経費を差引いた全額を日本赤十字社に寄附させていただきます。

◆お問合わせ 学校経理研究会事務局矢島まで。電話 03-3239-7903 Mail gaku@keiriken.net

■FAX申込書■

特定非営利活動法人 学校経理研究会 行

No. _____

4/26 (火) 緊急研究会「福島原発事故による学校・機関への影響と対応を考える」に参加を申し込みます。

平成 23 年 4 月 日

〒	
ご住所：	Tel：
法人名：	部署名：
ご氏名：	該当の場合レ印をお入れください。 ☐ 学校経理研究会会員 ☐ 国立大学マネジメント研究会会員 ☐ 大学行政管理学会会員